

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。10:00 午前、2022年4月3-4日

ブーチャ、イリピン、モティズイン いくつかのウクライナの都市や村が世界的に戦争で有名になりました。残念ながら、その理由は歴史や可愛い街並みではなく、ロシア軍人の残虐行為のためのためです。ブーチャ、イリピン、モティズインという名前は、週末に世界中のニュースで報道されました。この街、首都のキーウ市から30キロしか離れていない街もあります。貴国の首都から車で30分以内の郊外を思い出してみてください。2022年の現在、たった一か月で、首都から30キロ離れたところで、400人が殺されました。「戦争犯罪」、「大虐殺」、「大量虐殺」という言葉があります。この人は家族、友人、隣の人、同僚だった真実は一つだけです。一般市民が殺されたことは現実です。この痛みを表現できる言葉は存在していません。マリウポリ市他、占領地域が解放される時、痛みが増すばかりだろう。

土曜日、キーウ州の解放のことがどこからでも聞こえていました。半分勝ったかのように思ってしまったこともあるかもしれません。一方、ロシア部隊の撤退につれ、一か月の占領中に一般市民に対しロシア軍人がした残虐行為が明らかになりました。一般市民が道路沿い、住宅の近く、地下室避難所で殺されていました。多くの場合、市民の手が縛られていました。男性、女性、子どもも問わず。280人の大量埋葬の現地写真、[衛星画像も公表](#)されました。日曜日の夜までに、410人の遺体が法医学的調査に移されたことと[検事総長が報告](#)しました。

ロシアは、もちろん、その大虐殺の事実を否定し、「挑発」と呼びながら、国際連合安全保障理事会に「ブーチャ市でのウクライナ過激派による挑発」と急いで[言い出](#)しました。この大虐殺は、ロシアの部隊の撤退後、ウクライナ軍人が砲撃したかのように証拠なく主張しています。

ゼレンスキー大統領が、この現状を「大量虐殺、国家の破壊、民族の破壊。これは全部、ウクライナが、ロシアの政治方針に従いたくないからだ」と毎日の国民への呼びかけ中に言いました。

人権侵害 ヒューマン・ライツ・ウォッチ(HRW)の最初の発表された[調査報告](#)の1つで、人権侵害に関するより多くの情報が明らかになります。報告は、繰り返されたレイプの事件、即決処刑の2つの事件、違法な暴力の事件、および民間人に対する脅迫など、戦争の最初の3週間におけるロシア軍による戦時国際法違反の証拠を示しています。

### 攻撃を受けている都市

週末、キーフ州は全域が解放されています。チェルニーヒウ州もロシア軍から解放されたと発表されています。キーフ市の抵抗は一か月経ちました。キーフ市が受けたロシアの攻撃のインタラクティブカウンターは[ここ](#)です。チェルニーヒウ市長によると、チェルニーヒウ市の70%は全体が破壊されました。

ロシア軍はハルキウ州のバラクレヤ市病院を攻撃しました。病院の中には約70人の医者や患者がいました。それから、ロシア軍は破壊された病院から残った人を避難しようとした護衛も攻撃しました。負傷者がいます。産業インフラは砲撃を受け続けます。ハルキウ州のイジューム市はホットスポットの一つです。現在、イジューム市の民間施設の80%は全体が破壊されています。イジューム市の近郊では約2万人がブロックされています。人道支援が届かない地域です。

ハルキウ市が砲撃を受けた結果、約10の集合住宅が破壊されました。7人が死亡し、34人が負傷しました。その中に子供が3人います。

フメルニツキー州のシェペティウカ市とスラブウータ市の産業施設も砲撃を受けました。週末、港があるオデッサ市とムィコラーイウ市も砲撃を受けました。日曜日の夜、テルノーピリ、リヴネ、イバノフランコフスク、ヘルソンで爆発音が聞こえたと報告されました。ルハンシクとドネツクが受けている攻撃数は多いまです。

週末、スミー州のコトプ市ではロシア軍人の数が増えてしまいました。軍隊の撤退の準備をしているそうですが、攻撃は続いています。プティウリ市とスミーの架け橋が破壊されました。

ウクライナの南の都市は抵抗を続けています。エネルゴダル、カホフカとヘルソンの地元住民がウクライナでのロシア戦争に反対する集会に出かけました。エネルゴダルで爆発が聞こえてようです。カホフカでは射撃の音が聞こえました。集会が終わったら、少なくとも4人が誘拐されました。現在、誘拐された人の居場所が不明です。現在の状況のマップは[ここ](#)です。

外交政策。南の都市への人道援助ミッションを率いるギリシャの外務大臣は土曜日にオデッサを[訪問](#)しました。訪問の結果、人道的努力とギリシャの民族コミュニティを支援するために、オデッサにあるギリシャ領事館が再開されました。重要なギリシャの民族コミュニティは以前マリウポリに住んでいましたが、現時点ではオデッサが可能性がある次の移転の地域ようです。クリミアへの陸の回廊を確保するため、マリウポリがロシアの重要な戦略的目標の一つであると英国国防省は[警告](#)しています。ブチャや他の都市でのロシアの報告された戦争犯罪について検討するために、国連安全保障理事会は火曜日に会合します。

デジタルセキュリティー。日曜日、[Anonymous](#) が12万人のロシア軍人個人情報を漏らし、「ウクライナの占領する軍人は、国際戦犯法廷の対象者にならなければならない」と。ロシア軍によるキーウ州での一般市民の大虐殺について報告されてから、情報の漏れがありました。

#### 参考資料

- [Ukraine's film-makers can't pick up guns, but their cameras are vital weapons | Darya Bassel | The Guardian](#)
- [Not all criticism is Russophobic: on decolonial approach to Russian culture | Lia Dostlieva, Ukrainian artist, cultural anthropologist and Andrii Dostliev, Ukrainian artist, researcher](#)
- [What makes biological weapons so dangerous, and does Russia have them? | The Economist](#)

#### 総計情報

- 戦争開始以降、158人の子供が死亡し、258人が負傷しました。
- ウクライナ財務省はウクライナが毎月100億ドルを戦争に費やしています。
- ウクライナ軍参謀本部は、2022年4月4日午前6時現在のロシア軍の推定総損失を発表しました: 人員約18,300人、戦車647台、APV1,844台、砲兵システム330台、MLRS107台、対空・航空機戦闘システム54台、固定翼航空機147台、ヘリコプター134台、軽装甲車1,273台、軽装甲車7台、燃料タンカー76台、運用戦術レベルUAV92台、特殊装備25台。ロシア軍の損失インタラクティブカウンターは[ここ](#)です。

すべてのアクションが重要であり、あなたの貢献が小さすぎることはありません！

- ブチャ、マリウポリやハルキフについての情報を共有してください。
- 外国からウクライナを支援する方法はここ: [Help Ukraine: Humanitarian Aid to Ukrainian, Donate for Ukrainian people \(ukraine-helpers.com\)](#)。
- ウクライナのメディアによるソーシャルメディアや、このサイトに広めることによって、ウクライナの状況に関する最新情報を共有してください。
- [Twitter](#)と[Webサイト](#)で毎日アップデートを読んでください。
- [PayPal](#)経由の寄付で私たちのプロジェクトをサポートすることができます。[詳細](#)はこちらです。

ウクライナをご支援いただきありがとうございます。Slava Ukraini! ウクライナに栄光あれ！